

住民意向調査の結果を尊重すべきです

彦根で「望ましくなく」「は3.6倍

19日に公表された「市町合併住民意向調査」の集計発表は、合併の賛否を問う【設問5】で「望ましくなく」「望ましい」の2.7倍になったほか、他の4つの設問すべてで「評価できない」が多数第一位となりました。とくに彦根市では「望ましくなく」「望ましい」の3.65倍となり、「合併のお墨付き」（読売新聞）をもらおうとした推進派に、彦根市民は1市3町合併「ノー」の判断を突きつけました。

西澤議員は調査の集計発表を受け、山本町長はじめ合併協議会の町内10人の委員に調査結果の尊重を求める要請を書面で行いました。

合併意向調査の回答者は全体で5万1千18人、18歳以上の対象者10万648人に対する回答率は47.9%でした。甲良町は48%、一番多い多賀町は55.2%でした。

結婚相手が

「イヤ」の結論

西澤議員の要請書では、結果を結婚にたとえると、「婚約イヤ」と相手方が結論を出したのと同じで、「彦根市・多賀町の住民多数が『望ましくなく』」を選択したこと、とくに、合併肯定が多数を占めた豊郷町・甲良町を含む全体でも、合併否定が賛成の2.7倍になった事実を厳正に受け止めるべき」と述べています。

今回の結果は「住民意向調査」を「参考程度」にとどめたいとする合併協議会一部幹部の思惑を打ち破り、彦根市民の住民投票を求める直接請求署名運動など、世論の高まりがあり、また豊郷町の事態を見聞きして、それぞれの住民が合併後の運営を不安に思われたことも要因となっているのではないのでしょうか。電算システム統合や字名アンケート

近江同盟新聞2月20日記事より転載

トなど「合併前提」とする行政主導の宣伝などが先行した中で、甲良町では、合併賛成が50%に達せず、826人の方が合併に「異議あり」の回答をされました。これは「小さな町も残したい」「甲良町の歴史と自治を守る」など、今後の希望ある流れ、と評価しています。

中島会長は協議会解散を決断すべき

日本共産党議員団は、中島会長が合併協議会解散を表明すべきだと訴えています。



甲良民報
 NO.235 2004年2月22日
 発行：日本共産党甲良町支部
 支部長 西澤のぶあき
 甲良町在土 463tel.fax:38-4949
 日本共産党ホームページ：
<http://www.jcp.or.jp>
 【月3回発行・原則＝月末か月初めは休刊】
 日本共産党の見解を紹介します